

編集発行

岩手県農業研究センター

所長 田中 義一

〒024 北上市成田20-1
TEL 0197 (68) 4402~4403

時代の変化に迅速に対応できる技術開発を

農業研究センター 生産環境部長 小川 勝美



「安定、多収、低コスト」は、作物を栽培する誰しもが願うところである。これを可能にし、持続させるための研究開発が継続的に行われてきたが、今後もさらに力を入れて取り組まねばならない。しかし一方、環境問題はいま最も注目されている課題で、農業においても環境に配慮した農法への転換が急がれている。また、農作物に対する消費者や食品業界のニーズはますます多様化しており、特に「安全性」、「機能性」、「おいしさ」などが重視されてきている。生産者においても、環境負荷を軽減しつつ、「安全な農産物を届けたい」との思いから、有機栽培等への取り組みがみられ、その販売方法についても様々試行されてきている。研究においても、生産者および消費者等のニーズの変化をいち早く把握し、迅速に対応、支援できる技術研究が求められる。当部も、「環境にやさしい農業技術」の研究に取り組み、有機栽培の成立条件の解明、農薬代替の防除技術、低投入安定生産のための施肥土壌管理のあり方などを検討中である。さらに、地域の特色を生かしたオリジナル加工品の開発、支援なども、他部門と連携を取りながら進めているところである。

=== 生産環境部各研究室紹介 ===

〈環境保全研究室〉

環境にやさしい安全な農産物の生産に向けた研究を行っています。特に、社会的関心の高い環境保全型農業の栽培技術の確立に向けて、有機栽培の成立条件の研究や有用微生物および天敵を利用した生物防除など生態系活用技術の総合組立研究を行っています。また、土壌・水質の安全管理と汚染防止技術の開発を行う目的で農業の水系での動態や作物残留調査を行っています。

〈土壌作物栄養研究室〉

土壌管理と作物栄養についての技術を開発しています。特に、高位生産を維持する土壌・施肥管理技術、土壌蓄積養分の評価と有効利用技術、畜産由来資源の特性解明と有効利用技術などの開発に取り組んでいます。また、生産環境情報システムの高度化、リモートセンシング技術等による生育栄養診断技術の開発などにも取り組んでいます。

〈病害虫研究室〉

病害虫防除についての技術を開発しています。特に、病害虫の発生生態解明と発生予察システムの確立および改善、防除回数削減技術の開発に取り組んでいます。新しい除技術として天敵微生物等を利用した生物的病害虫防除および作物の防御機能を活用した病害虫制御など環境負荷の少ない防除技術の研究も行っています。

〈保鮮流通技術研究室〉

収穫後農産物の鮮度保持法や貯蔵法の技術を開発します。特に、栄養成分に寄与する栽培条件の解明、農産物の鮮度保持技術と低コスト貯蔵技術の開発、農産物加工適正の評価技術の確立、地場農産物の特性を利用した加工食品の開発に取り組んでいます。



現地土壌診断



食品栄養分析



電子顕微鏡によるいもち病菌の観察



りんご及び桜をセンターに記念植樹

平成9年12月5日、農業研究センター開所記念として、ふれあい散策道及びりんごほ場に、桜とりんごの木あわせて370本が植えられた。

当日は中村農政部長が植樹を行い、センターに植えられたこの木々が立派に成長する頃には、この花と同様に、岩手の農業の現場に試験研究の成果も大きく花開いていることを確信している、との話があった。

なお、12月という比較的寒い時期に植樹を行うことができたのも、ポット栽培という試験研究の技術成果が使われており、まさにセンターならではの植樹を行うことが出来たといえる。



センター正門付近での桜の植樹

つくば研究者交流フォーラム開催



記念講演をする増田知事



センターの研究概要を説明する研究員

平成9年12月12日、筑波第一ホテルで岩手ゆかりのつくば研究機関研究者と、県内の大学や試験研究機関との交流会が増田知事の出席のもと行われた。

知事は記念講演の中で、農業研究センターを例にあげ、新しい時代に向け、試験研究による技術開発の重要性を強調した。

現地ふれあいセンター終了

平成9年11月7日の遠野会場を皮切りに、県内5会場（遠野、軽米、胆沢、陸前高田、玉山）で行われたふれあいセンターは、延べ千名が参加して終了した。

本年度最終会場となった玉山村文化会館（姫神ホール）には中村農政部長が出席し、およそ200名の参加者が熱心に討議を行った。

最新の知識で農業の技術やノウハウなどの研究、実証を行っている研究員が、自ら現地の声を聞きに行くこのふれあいセンターは、来年度も実施の予定となっている。



開会のあいさつをする中村部長



熱心にメモを取る参加者

1月行事予定

農業研究センター

- 8 農業試験研究推進会議調整会議 大会議室
- 12 知事視察 県北農業研究所
- 13 東北6県企画広報担当者会議（～14日） 中会議室
岩手県特産農作物生産振興共進会表彰式 サザンパレス
技術普及指導検討会（～14日） 農業大学校
- 19 事業全国研修会（～20日）
技術普及指導検討会 畜産研究所
技術普及指導検討会（～21日） 農業大学校
桑病虫害防除に関する研究会（～21日） つくば市
- 22 環境保全型農業推進研修会 盛岡市
- 26 企画運営会議
落葉果樹関係成果検討会（～30日） つくば市
地域基幹「機械化畑輪作」成績検討会（～27日） 東北農試
- 27 公開セミナー 大会議室

地域基幹推進評価会議 東北農試

- 29 地域基幹「黒毛放牧」検討会議（～30日） 盛岡市
- 30 東北農業研究推進会議本会議 東北農試
ロングマット設計評価会議 農水省農県センター

病虫害防除所

- 20 環境保全型農業推進研修会 サンセール盛岡
- 23 花木病虫害凶鑑編集委員会 農保会館
- 26 航空事業地方協議会関係者合同研修（26日～27日） 栃木県・那須町等
- 27 いわて純情産地を守り育てる運動成果検討会（～28日） 愛真館
- 28 宮古地域農業技術者連絡会議 宮古会庁
- 2/6 農薬安全使用講習会 川井村区堺
- 9 北日本病虫害研究発表会（～10日） 岩手教育会館
- 10 平成9年度後期園芸畑作担当者会議 サンセール盛岡
- 12 病虫害防除関係者研修会（～13日） ホテル志戸平

IBCラジオ農業最前線放送予定

月～金 午後0時55分～

- 1/12 米の食味成分と食味①・②・③・④
- ～15 農産部 小綿寿志
- 1/19 今年りんご生産計画（品種更新他） 園芸畑作部 小原 繁
- 1/20 りんごの花芽からみた生産と剪定等 園芸畑作部 鈴木 哲
- 1/21 トマトの育苗管理について 園芸畑作部 高橋正広
- 1/22 小ギクの親株管理 園芸畑作部 内藤善美
- 1/26 りんごの土壌維持・施肥管理 生産環境部 佐藤 喬
- 1/27 野菜畑の土づくり 生産環境部 佐藤 喬
- 1/28 土壌蓄積養分の利用 生産環境部 島 輝夫
- 1/29 生育・栄養診断による施肥 生産環境部 田村和彦
- 2/5 農産物の直売活動について 企画経営情報部 中村勝則
- 2/9 豚の系統造成とその利用について①・②・③・④
- ～12 畜産研究所 藤原哲雄
- 2/16 りんご果実の貯蔵法①・②
- ～17 生産環境部 佐藤博美

- 2/18 野菜の栄養成分と肥培管理①・②
- ～19 生産環境部 石川美佳子

「おはよう今日も元気で」内容

午前6時50分～

- 1/16 りんごの剪定と今年管理計画 園芸畑作部 鈴木 哲
- 1/23 畜産能力検定 畜産研究所 菊池 雄
- 1/30 野菜の作付け計画 県北農業研究所 菅原英範
- 2/6 土壌線虫のはなし 生産環境部 高城保志
- 2/13 酒用の米の育種 農産部 畑山 均
- 2/20 キャベツ「いわて春みどり」の栽培について 園芸畑作部 作山一夫

主な来所書

遠野市小友町、花巻地区公民館、東北6県企画広報担当者、東北インテリジェント通信、岩手大学付属農場、気仙川土地改良区、岩手県経済連、JAきたかみ